

専門分野を生かした職務関連の社会貢献等について

Other Relative Activities

1. 講義

- 奥田晴宏, 「医薬品の品質・審査の考え方」, 東京大学医薬品評価科学レギュラーコース (RC-15) (2019.5.27)
- 合田幸広, 「生活に即した薬学 [レギュラトリーサイエンス] の実践 健康食品の品質とニセ薬の話を中心に」, 大阪大学薬学部 (2019.12.12)
- 合田幸広, 「食薬区分と生薬」, 東京農工大学工学部生命工学科 (2019.11.1)
- 伊豆津健一, 「錠剤などの生物学的同等性」, 国立保健科学院・薬事衛生管理研修 (2019.5.23)
- 伊豆津健一, 「製剤の生物学的同等性とジェネリック医薬品の品質確保」, 名古屋市立大学大学院薬学研究科 (2019.5.22)
- 伊豆津健一, 「医薬品の品質保証とジェネリック医薬品」, 国立保健医療科学院 院外研究プログラム (2019.10.28)
- 吉田寛幸, 「Evaluation method of Inhalers」, 星薬科大学 (2019.7.1)
- 吉田寛幸, 「Generic drug products and Bioequivalence (BE)」, 星薬科大学 (2019.7.1)
- 坂本知昭, 「品質管理概論」, 国立保健医療科学院・薬事衛生管理研修 (2019.5.17)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質保証」, 国立保健医療科学院 (2019.6.3)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の研究開発とレギュラトリーサイエンス」, 高崎健康福祉大学薬学部 (2019.6.19)
- 石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2019.7.19)
- 石井明子, 「バイオリジクスの品質評価」, 横浜薬科大学薬学部 (2019.10.26)
- 日向昌司, 「バイオ医薬品の製造と品質管理」, 明治薬科大学薬学部 (2019.12.18)
- 石井明子, 「バイオ医薬品 (抗体医薬/生物薬品) のレギュラトリーサイエンス」, 神奈川県立保健福祉大学 (2020.2.8)
- 袴塚高志, 「生薬及び漢方製剤等の品質確保について」, 国立保健医療科学院令和元年度薬事衛生管理研修 (2019.5.24)
- 丸山卓郎, 「健康食品と食薬区分」, 第21回薬用植物シンポジウム (2019.7.21)
- Kikura-Hanajiri R. “Changes in the prevalence of new psychoactive substances and their legal status in Japan”, JICA Knowledge Co-Creation Program, Regulatory Systems on Ensuring Access to Quality Medicines (2019.7.23)
- 袴塚高志, 「国立医薬品食品衛生研究所及び当所生薬部の業務について」, 奈良県六社会県外研修 (2019.9.6)
- 袴塚高志, 「薬局方の生薬規格-日本薬局方の改正点を中心に-」, 令和元年度漢方薬・生薬研修会 (2019.9.8)
- Kikura-Hanajiri R. “Analytical techniques to prevent health damage caused by new psychoactive substances”, Seminar on the trends of analysis of drugs and New Psychoactive Substances (NPS) (2019.10.25)
- 袴塚高志, 「生薬・漢方製剤の承認制度と日本薬局方による標準化」, 国立保健医療科学院 院外研修プログラム (2019.10.28)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグによる健康被害を防ぐために」, 国立保健医療科学院院外研修プログラム (2019.10.28)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグの現状」, 令和元年度指定薬物分析研修会議 (2020.11.24)
- Hakamatsuka T. “Standards and Guidelines for Crude Drug/Kampo Medicine Marketing Approval”, PMDA-ATC Quality Control (Herbal Medicine) Seminar 2019 (2019.12.11)
- Hakamatsuka T. “Japanese Pharmacopoeia (JP), Japanese Standards for Non-Pharmacopoeial Crude

- Drugs (Non-JP Crude Drug Standards)” PMDA-ATC Quality Control (Herbal Medicine) Seminar 2019 (2019.12.11)
- 緒方潤, 「乱用が危惧される植物系製品の基原植物について」, 令和元年度指定薬物分析研修会議 (2020.1.24)
- 田中理恵, 「指定薬物と危険ドラッグ製品の分析について」, 令和元年度指定薬物分析研修会議 (2020.1.24)
- 花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグについて」, 令和元年度地方衛生研究所全国協議会衛生理化学分野研修会 (2020.2.10)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論」, 東京大学大学院薬学系研究科講義 (2019.10.7)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に使用する細胞加工製品 (再生医療等製品) の品質・安全性評価」, 横浜市立大学大学院生命医科学研究科講義 (2019.10.28)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論&再生医療に用いられる細胞の品質・安全性の評価」, 神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター再生医療特論セミナー (2019.11.11)
- 佐藤陽治, 「医薬品等レギュラトリーサイエンス概論&再生・細胞医療に用いられる細胞の品質・安全性の評価について」, 大阪大学大学院薬学研究科講義 (2019.11.11)
- 河野健, 「再生医療等製品の品質・安全性評価」, 昭和薬科大学特別講義 (2019.11.22)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品 (細胞加工製品) の品質・安全性確保のための科学」, 慶應義塾大学薬学部セミナー (2019.11.22)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に使用される細胞加工製品の品質・安全性評価」, 大阪大学国際医工情報センター 再生医療:細胞製造設計エキスパート育成講座 (2019.12.14)
- 佐藤陽治, 「再生医療・細胞治療に用いられる細胞加工製品の品質 (および遺伝子治療等に関する規制動向)」, 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会 (2019.12.17)
- 内藤幹彦, 「標的医薬品の創製」, 平成31年度昭和薬科大学講義 (2019.4.16)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 千葉大学薬学部 薬物学特論 (2019.5.21)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 大阪大学大学院薬学研究科 レギュラトリーサイエンス特別講義 (2019.6.21)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と安全性確保に向けた取り組み」, 徳島大学薬学部 先端医療薬学 (2019.10.24)
- 齋島由二, 「医療機器概論」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2019.8.7)
- 内野正, 「3Rsとは?動物実験における3Rsと代替法について」, 日本動物実験代替法学会出前講義・慶應義塾大学薬学部 (2019.4.15)
- 五十嵐良明, 「生活関連化学物質の安全対策」, 千葉大学薬学部衛生薬学Ⅲ講義 (2019.5.24)
- 五十嵐良明, 「生活関連化学物質の安全対策」, 千葉大学薬学部衛生薬学Ⅲ講義 (2019.5.31)
- 河上強志, 「家庭用品の安全性」, 国立保健医療科学院令和元年度短期研修住まいと健康研修 (2019.6.19)
- 河上強志, 「公衆衛生学 家庭用品の安全に関する法規制と実際の健康被害について」, 名城大学薬学部 (2019.7.8)
- 酒井信夫, 「食物アレルギーに関するレギュラトリーサイエンス研究」, 徳島大学薬学部 (2019.11.14)
- 秋山卓美, 「理容・美容業務における化粧品」, 日本理容美容教育センター令和元年度同時授業担当教員資格認定研修会 (2020.3.5)
- 鈴木美成, 「実用分析化学」, 島根大学生物資源科学部 (2019.4.28-30)
- 根本了, 「食品に残留する農薬等の規制とその試験法について」, 国立保健医療科学院 令和元年度短期研修 食肉衛生検査研修 (2019.7.1)

- 穂山浩, 「食物アレルギーについて」, 千葉大学薬学部 (2019.7.1)
- 穂山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2019.7.5)
- 穂山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 千葉大学薬学部 (2019.7.8)
- 鈴木美成, 「環境汚染化学」, 島根大学生物資源科学部 (2019.11.2-4)
- 穂山浩, 「食品中アレルギーゲンのリスクアナリシス」, 東京農工大学工学部 (2019.11.21)
- 穂山浩, 「食品添加物の安全性を科学的に学ぼう」, 上智大学地球環境学研究科 (2019.11.27)
- 鍋師裕美, 「食品中の放射性物質の規制と現状」, 徳島大学薬学部 (2019.12.12)
- 穂山浩, 「残留農薬のリスクアナリシス」, 東京農工大学工学部 (2019.12.12)
- 穂山浩, 「食品分野のレギュラトリーサイエンス」, 東京大学農学部 (2020.1.6)
- 佐藤恭子, 「食品添加物の開発と規制」, 東京農工大学大学院工学府講義 (2019.10.10)
- 佐藤恭子, 「栄養化学 8」, 千葉大学薬学部講義 (2020.1.24)
- 久保田浩樹, 「食品中の亜硝酸塩分析法について」一般財団法人食品衛生登録検査機関協会 令和元年度食品添加物研修会 (2019.10.17)
- 建部千絵, 「食品中の食品添加物分析法 食品中の食用タール色素分析法 (案)」一般財団法人食品衛生登録検査機関協会 令和元年度食品添加物研修会 (2019.10.17)
- 杉本直樹, 「qNMRによる定量分析値へのSIトレーサビリティの付与」, 慶応義塾大学大学院 (2019.6.26)
- 杉本直樹, 「定量分析値へのSIトレーサビリティの付与」, 立命館大学薬学部 (2019.7.10)
- 杉本直樹, 「天然有機化合物の機器分析法に関する研究」, 星薬科大学薬学部 (2019.12.8)
- 杉本直樹, 「既存添加物の規格基準, 分析法」, 日本大学生物資源科学部 (2019.12.17)
- 六鹿元雄, 「食品器具・容器包装の規制」, 日本大学 (2019.7.10)
- 阿部裕, 「乳幼児用玩具の規制および乳幼児用玩具に関する研究」, 日本大学 (2019.7.10)
- 阿部裕, 「レギュラトリーサイエンス 食品用器具・容器包装および乳幼児用玩具」, 東京農工大学 (2019.10.24)
- 岡田由美子, 「微生物試験法の国際整合性」, 国立保健医療科学院令和元年度食肉衛生検査研修 (2019.6.19)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の発生状況と低減に向けた課題」, 国立保健医療科学院令和元年度食肉衛生検査研修 (2019.7.2)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒の発生状況、分子疫学並びに制御策について」, 国立保健医療科学院令和元年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.15)
- 朝倉宏, 「レギュラトリーサイエンス：食品有害微生物の危害管理」, 東京農工大学 (2019.10.17)
- 上間匡, 「ウイルス性食中毒」, 国立保健医療科学院令和元年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.17)
- 岡田由美子, 「リステリア・モノサイトゲネスの微生物基準策定と試験法」, 国立保健医療科学院令和元年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.18)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシンによる食中毒」, 国立保健医療科学院令和元年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.18)
- 朝倉宏, 「カンピロバクター総論」, 国立保健医療科学院令和元年度細菌研修 (2019.11.6)
- 佐々木貴正, 「獣医学実践実習：Salmonella in chicken products and eggs」, 岐阜大学大学院 (2019.12.11)
- 朝倉宏, 「獣医学実践実習：Epidemiology of Foodborne

- EHEC and *Campylobacter* Infection」, 岐阜大学大学院 (2019.12.12)
- 大西貴弘, 「クドア等に関する食中毒について」, 平成31年京都府食品衛生監視員全体研修会 (2019.5.15)
- 渡辺麻衣子, 「食品・環境に分布する真菌とその検査」令和元年度岩手大学農学部食品衛生学実習 (岩手大学) (2019.7.31)
- 菊池裕, 「レギュラトリーサイエンス講座 薬食衛生微生物分野講義」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2019.8.2)
- 大西貴弘, 「魚肉における原因不明食中毒の究明と対策」, 平成31年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.21)
- 工藤由起子, 「病原大腸菌による食中毒と食品の検査法について」, 国立保健医療科学院・令和元年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2019.10.23)
- 渡辺麻衣子, 「食品真菌の検査と制御」, 国立保健医療科学院・令和元年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2019.10.24)
- 大西貴弘, 「寄生虫による新しい食中毒」, 岐阜大学・獣医学特別実験Ⅲ 実践実習 (2019.12.11)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品の現状とゲノム編集食品」, 名城大学薬学部衛生化学Iの講義 (2019.7.5)
- 近藤一成, 「ゲノム編集技術を利用した食品等とその取扱い」, 国立保健医療科学院平成29年度短期研修食品衛生危機管理研修 (2019.10.21)
- 蜂須賀暁子, 「身近な放射線 食品汚染物質と医療応用の観点から」, 横浜市立大学特別講義 (2019.11.29)
- 安達玲子, 「基礎から学ぶ特定原材料表示 ～導入の背景から新しい表示法における取扱いまで～」, 日本食品衛生協会食品衛生研究所 食物アレルギー検査実習 (2019.7.4)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 東京農業大学 (2019.4.17, 2019.4.24, 2019.10.3, 2019.10.10)
- 畝山智香子, 「食の安全と薬学」, 東北大学薬学部 (2019.6.14)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 日本健康・栄養食品協会第48期食品保健指導士養成講習会 (2019.10.23)
- 畝山智香子, 「リスクアナリシスによる食品の安全性確保」, 国立保健医療科学院 (2019.10.17)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価」, 女子栄養大学 (2019.11.13)
- 畝山智香子, 「ほんとうの『食の安全』を考える」, 宮城大学食産業学群 (2019.12.13)
- 渡邊敬浩, 「国際対応に必要な分析の基礎知識」, 厚生労働省令和元年度食品安全行政の国際化研修 (2019.8.23)
- 渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－サンプリング－」, 厚生労働省令和元年度食品安全行政の国際化研修 (2019.9.3)
- 渡邊敬浩, 「分析の目的と実行－分析法への要求と分析結果の品質保証－」, 厚生労働省令和元年度食品安全行政の国際化研修 (2019.9.6)
- 窪田邦宏, 「安全情報部」, 厚生労働省 医薬・生活衛生局食品監視安全課 令和元年度獣医系行政官等研修 (2019.4.23)
- 窪田邦宏, 「安全情報部」, 厚生労働省 医薬・生活衛生局食品監視安全課 令和元年度厚労省インターンシップ (2019.8.8, 2019.8.20)
- 窪田邦宏, 「食品安全情報と食品媒介感染症被害実態の推定」, 国立保健医療科学院 令和元年度食品衛生危機管理研修 (2019.10.17)
- 窪田邦宏, 「安全情報部」, 国立保健医療科学院 令和元年度地域保健臨床研修 院外研修プログラム (2019.10.28)
- 登田美桜, 「Food safety risk analysis」, 北海道大学大学院農学研究院 (2019.8.9)
- 登田美桜, 「食品安全のリスクアナリシス」, 徳島大学薬学部 (2019.12.12)
- 青木良子, 「医薬品の安全な使用のために、海外の副作用情報を活用する」, 東北大学薬学部 (2019.11.7)

青木良子, 「医薬品の健康危機管理」, 神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科 (2019.12.14)

荒川憲昭, 「医薬品の重篤副作用とバイオマーカー開発」, 東北大学薬学部 (2019.12.23)

齋藤嘉朗, 「ゲノム薬理学の最前線」, 北里大学大学院薬学研究科 (2020.1.14)

齋藤嘉朗, 「医薬品の重篤副作用と発症関連バイオマーカー」, 東北大学薬学部 (2020.1.20)

齋藤嘉朗, 「医薬品の製造販売後の安全性確保に関する行政施策と医療情報データベースを用いた研究」, 東北大学薬学部 (2020.1.20)

栞形麻樹子, ヒトの時間生物学: 頭・頸部の発生と先天異常, 昭和大学医学部2学年講義 (2019.6.18)

栞形麻樹子, ヒトの時間生物学: 心血管系, 昭和大学医学部2学年講義 (2019.6.20)

大久保佑亮, 「発生生物学と再生医療」, 横浜国立大学講義 (2019.7.24)

北嶋聡, 毒性学研究の最先端の話から: 毒性学分野における獣医師の重要性, 東京大学農学部獣医学専修「毒性学実習」特別講義 (2019.12.17)

北嶋聡, 化学物質のリスクアナリシス, 日本獣医生命科学大学獣医学科「毒性学総論」講義 (2020.1.8)

栞形麻樹子, 先天異常の形態: 発生の異常と先天異常の概論, 昭和大学医学部1学年講義 (2020.1.20)

横田理, 毒性試験を実施する上でのレギュラトリーサイエンスの重要性-国立研究機関の研究者編-, 東京理科大学薬学部「環境健康学」講義 (2020.1.21)

石田誠一, 「国立衛研とレギュラトリーサイエンス 薬学体験学習」, 日本薬科大講義 (2019.05.20)

諫田泰成, 「ヒトiPS細胞を用いたレギュラトリーサイエンス研究」, 徳島大学講義 (2019.10.30)

佐藤薫, 「新薬の安全性・毒性評価におけるhiPSC由来神経系細胞の実用をめざして」, 東京大学大学院薬学系

研究科大学院講義 (2019.11.9)

豊田武士, 「食品中化学物質の安全性評価」, 静岡県立大学大学院 (2019.11.19)

本間正充, 「ゲノム安全学-遺伝毒性学概論-」, 大阪大学 (2019.7.16)

田邊思帆里, 「What is the origin of life?」, 都立日比谷高校 (2019.7.23)

広瀬明彦, 「化学物質の定量的リスク評価手法〈レギュラトリーサイエンス講座〉」, 大阪大学大学院薬学研究科 (2019.7.12)

広瀬明彦, 「リスク評価におけるPDE設定の毒性学的概念について」, 東京理科大学大学院薬学研究科 (2019.9.21)

2. 講演

奥田晴宏, 「ICHガイドライン (Q3 A/B及びQbD関連)の日局への取込み」, 関西医薬品協会研修会「第十七改正日本薬局方第二追補について」 (2019.7.26)

奥田晴宏, 「第十七改正日本薬局方第二追補の概要について」, JASIS 2019「日本薬局方セミナー」 (2019. 9.5)

奥田晴宏, 「医薬品の品質保証研究の深化のために-化学合成医薬品を中心に」, 第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2019.9.6)

Okuda H, "Progress of Regulatory Science in Japan", Global Summit on Regulatory Science (2019.10.25)

Okuda H, "Vision and Expectations: Japanese Pharmacopoeia", Meet the World Pharmacopoeias Symposium (2020. 2.10)

奥田晴宏, 「ICHQガイドラインと医薬品品質調和 (化学合成医薬品を中心に)」, 第22回医薬品品質フォーラムシンポジウム (2020. 2.26)

合田幸広, 「天然物由来, 錠剤, カプセル形状食品の品質保証」, 平成31年度名古屋市立大学薬友会関西支部講演会 (2019.7.7)

合田幸広, 「定量NMRと日本薬局方」, JASIS2019

(2019.9.5)

合田幸広, 「創薬基盤推進研究事業の全体概要と国衛研のミッション・組織等について」, 令和元年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表, (2019.10.16)

合田幸広, 「サプリメントの品質管理について」, JADMAサプリ塾第11回 (2019.10.18)

合田幸広, 「天然物由来, 医薬品, 医薬部外品, 機能性表示食品の品質保証」, 岐阜薬科大学第6回化粧品健康学セミナー (2019.10.28)

合田幸広, 「機能性食品のハードル, 天然物医薬品のハードル」, 和漢研セミナー (2019.12.16)

合田幸広, 「日本薬局方と定量NMR」, 富山薬事講演会 (2019.12.16)

合田幸広, 「天然物製品の品質とメタボロミクス」, 大阪大学/島津分析イノベーション協働研究所開所記念式記念講演会 (2019.12.19)

伊豆津健一, 「無菌医薬品包装の完全性評価及び漏れに関する試験法について」第20回日本薬局方に関する研修会 (2019.6.14)

伊豆津健一, 「日本薬局方の基礎と製剤試験の動向」, 日本PDA製薬学会第26年会・教育セミナー (2019.12.4)

伊豆津健一, 「日本薬局方における無菌医薬品の包装完全性の評価および漏れに関する試験法について」, PDA Pharmaceutical Product Quality Testing Conference (2019.10.29)

伊豆津健一, 「氷の中での相分離と凍結乾燥製剤の品質」, 粉体工学会製剤と粒子設計部会 (2019.09.27)

Izutsu K, Ando D, Usui A, Abe Y, Yamamoto E, Yoshida H, "Freeze-drying of protein pharmaceuticals: use of information on component mixing for formulation and process development", 9th International Symposium on Lyophilization of Pharmaceuticals (2019.09.03)

吉田寛幸, 阿部康弘, 伊豆津健一, 「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」, 日本ジェ

ネリック医薬品・バイオシミラー学会第13回学術大会 (2019.7.6)

阿部康弘, 「軟膏, クリーム剤の生物学同等性評価の海外動向」, 第9回レギュラトリーサイエンス学会学術大会シンポジウム (2019.9.10)

吉田寛幸, 「吸入剤の品質評価方法について」, 関西医薬品協会技術研究委員会 特別講演会 (2019.10.8)

Hiroyuki Yoshida, Yasuhiro Abe, Ken-ichi Izutsu, "Regulatory perspective on evaluation methods for inhalations", Inhalation Asia 2019 (2019.11.15)

宮崎玉樹, 「貼付剤の粘着特性とその評価法」, 粘着研究会第170回例会 (2019.11.1)

佐々木哲朗^{*1}, 中川準也^{*1}, 坂本知昭, 大塚誠^{*2}, 「テラヘルツレーザー光源とその応用」, 東北大学電気通信研究所・静岡大学電子工学研究所合同サマーセミナー (2019.8.29)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

坂本知昭, 「先端的分析法を用いた製剤開発及び製造工程評価手法の標準化に関する研究」, 令和元年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2019.10.16)

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*}, 知久馬敏幸, 「流通医薬品の品質確保に向けたテラヘルツ分光法を用いた医薬品の品質特性評価手法の開発」令和元年度生体医歯工学共同研究拠点共同成果報告会 (2020.3.13)

^{*} 静岡大学

小出達夫, 「医薬品の連続生産における計測技術を活用したプロセス制御と管理戦略」, 粉体工業展大阪2019 (2019.10.18)

石井明子, 「バイオ医薬品に関するレギュラトリーサイエンスの最前線」, 第27回神戸ポートアイランド創薬フォーラム (2019.6.12)

石井明子, 「バイオ医薬品の規格及び試験方法について」, DIA CMCフォーラム Q12実装後の承認申請書を

考える (2019.7.16)

柴田寛子, 「ICH-Q2 (R2)/Q14 分析法開発/分析法バリデーション改定 について」, 第8回 DIA CMC フォーラム (2019.7.16)

石井明子, 「バイオ医薬品の品質安全性確保のためのレギュラトリーサイエンス研究」令和元年度 国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム-医薬品・医療機器分野における品質・安全性評価法の最前線- (2019.7.30)

柴田寛子, 「ICHQ2/Q14の現状と展望」, 一般社団法人製剤機械技術学会第28回講演会 (2019.8.2)

石井明子, 「次世代バイオ医薬品の効率的実用化推進のための品質評価法の開発と標準化に関する研究」, 2019年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2020.10.16)

柴田寛子, 「バイオ医薬品の凝集体/不溶性微粒子試験法」, 2019年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.10.16)

原園景, 「バイオ医薬品の糖鎖試験法」, 2019年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.10.16)

日向昌司, 「宿主細胞由来タンパク質試験法」, 2019年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.10.16)

橋井則貴, 「高分子薬 (抗体医薬) に関するバイオアナリシス手法の標準化」, 2019年度日本医療研究開発機構研究費 創薬基盤推進研究事業 研究成果発表会 (2019.10.16)

石井明子, 「バイオ医薬品・バイオシミラーの品質と規制」, レギュラトリーサイエンスエキスパート研修会 バイオ医薬品等に関する品質関連研修講座 (入門編) (2019.12.16)

井上敬介*, 柴田寛子, 「ICH Q2 (R2)/Q14の現状と企業側・規制側からの期待」, 第22回医薬品品質フォーラム (2020.2.26)

* 武田薬品工業 (株)

Kikura-Hanajiri R. "An overview of recent emergence of new psychoactive substances (NPS) and their legal status in Japan", 6th NPS conference (2019.4.8)

Hakamatsuka T. "Quality Controls of Herbal Extract and Kampo Medicine", Workshop to develop the Knowledge on the principle of Traditional Chinese Medicine and Quality Control of Traditional and Complementary Medicine Products (2019.4.22)

花尻 (木倉) 瑠理, 「危険ドラッグによる健康被害を防ぐために」, 第26回クロマトグラフィーシンポジウム (2019.6.7)

Kikura-Hanajiri R. "Detection technology and trends of NPS in Japan", 2019 APEC International Workshop on Food Safety and Threat from New Psychoactive Substances (2019.6.11)

Hakamatsuka T. "Basic Principles for Registration of Hybrid Species in Japanese Pharmacopoeia" Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) Sub-Committee 2 Meeting (2019.6.25)

Hakamatsuka T. "Adulteration of Health Food Products with Unapproved Drugs in Japan" Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) Sub-Committee 2 Meeting (2019.6.25)

Hakamatsuka T. "Comparison of Terminology of Herbal Medicines among FHH Member Countries" Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) Sub-Committee 2 Meeting (2019.6.26)

袴塚高志, 「近未来における漢方薬の新展開に向けて」, 第70回日本東洋医学会学術総会 生薬シンポジウム「漢方薬利用の近未来 ~最近の研究成果を踏まえて~」 (2019.6.30)

花尻 (木倉) 瑠理, 「薬物による健康被害を防ぐために」, 第28回千葉大学大学院薬学研究院薬友会生涯教育セミナー (2019.7.13)

花尻 (木倉) 瑠理, 「あやしいヤクブツをどうやって分

析するか？」第41回日本中毒学会総会・学術集会セミナー (2019.7.21)

袴塚高志, 「医薬品・医療機器分野における品質・安全性評価法の最前線」, 衛研シンポジウム「天然物医薬品の品質・安全性確保に資する評価法の開発」(2019.7.30)

花尻(木倉)瑠理, 「危険ドラッグによる健康被害を防ぐための分析化学」, 日本分析化学会第68年会特別シンポジウム (2019.9.11)

内山奈穂子, 「健康食品としての薬用植物の品質評価について-分析事例を中心に-」, 日本生薬学会第66回年会(東京・2019.9.22)

袴塚高志, 「医薬品と食品の境界について」, 日本薬学会第66回年会シンポジウム I 「健康食品と生薬に共通する植物素材-有効性と安全性を考える」(2019.9.22)

袴塚高志, 「EFEの医薬品としての開発」, 日本生薬学会第66回年会シンポジウム II 「麻黄のドーピング・副作用防止対策として期待されるエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE)」(2019.9.23)

袴塚高志, 「一般用生薬・漢方製剤の安全使用に資するリスク区分及び添付文書の見直しについて」, 第52回日本薬剤師会学術大会分科会 7 「薬局製剤・漢方の普及への取り組み~かかりつけ薬剤師を目指して」(2019.10.13)

袴塚高志, 「配合生薬エキス製剤の実用化推進に資する品質評価技術基盤の開発研究」, 2019年度創薬基盤推進研究事業研究成果発表会『「革新的な医薬品・医療機器等の最適な実用化促進のための評価技術基盤の開発」研究の進捗・成果の現状と今後』(2019.10.16)

Kikura-Hanajiri R. "Analytical techniques to prevent health damage caused by new psychoactive substances", Special session of trends of analysis of NPS at the 37th Symposium of Korean Society of Forensic Sciences (2019.10.25)

袴塚高志, 「生薬・漢方製剤に関する最近の話題」, 令和元年度日本生薬学会関西支部秋期講演会 (2019.10.31)

花尻(木倉)瑠理, 「合成カンナビノイドと乱用薬物-メディシナルケミストリーの暗黒面」, 日本薬学会九州

支部コロキウム (2019.11.2)

Uchiyama N. "Determination of perillaldehyde in perilla herbs using relative molar sensitivity (RMS) based on a combination of ¹H-quantitative NMR and HPLC/UV", 4th Conference for Trilateral Communication between East Asian Pharmacopoeia Committees on Natural Medicines (4th TEAPN) (2019.11.11)

Hakamatsuka T. "Recent Topics on Japanese Pharmacopoeia in 2018-2019", 4th Conference for Trilateral Communication between East Asian Pharmacopoeia Committees on Natural Medicines (TEAPN) (2019.11.11)

Hakamatsuka T. "Recent Topics on Herbal Medicines in Japan (2018-2019)", Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) 17th Standing Committee Meeting (2019.11.14)

Hakamatsuka T. "Basic Principles for Registration of Hybrid Species in Japanese Pharmacopoeia", Western Pacific Regional Forum for the Harmonization of Herbal Medicines (FHH) 17th Standing Committee Meeting (2019.11.14)

袴塚高志, 「天然物医薬品の品質管理方法に関する国際調和」, 第48回生薬分析シンポジウム (2019.11.26)

袴塚高志, 「局方生薬に関する最近の話題と日本薬局方外生薬規格(局外生規)について」, 第35回生薬に関する懇談会 (2019.12.1)

Hakamatsuka T. "Progress Report from Japan on Regulation of Herbal Medicines (2018-2019)", The 11th annual meeting of International Regulatory Cooperation for Herbal Medicines (IRCH) (2019.12.5)

Hakamatsuka T. "Herbal Good Manufacturing Practice for Assurance of Quality and Safety of Raw Herbal Materials in Japan", The 11th annual meeting of International Regulatory Cooperation for Herbal Medicines (IRCH) (2019.12.6)

袴塚高志, 「医療用漢方製剤の新剤形開発における生物学的同等性評価の考え方について」, 国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会2019 (2020.2.5)

- Sato Y, "Points to Consider on the Quality of Raw Materials for the Manufacture of Cell-Based Therapeutic Products", 2nd Asia Partnership Conference of Regenerative Medicine Associations (2019.4.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療推進のための国内外の規制環境とわが国の開発環境」, 神戸再生医療勉強会 (2019.5.15)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)開発における品質管理」, 動物再生医療推進協議会勉強会 (2019.5.22)
- 佐藤陽治, 「再生医療の規制や施策の国内外の動向」, 医療機器レギュラトリーサイエンス研究会 第20回研究会 (2019.6.21)
- Sato Y, "Are WGS/WES and the collation with the Census/Shibata (C/S) list useful QC tests to predict tissue abnormality and tumorigenicity of transplants in cell therapy using PSC derivatives? -Interim Report of Shin Kawamata's Study Group-, International Stem Cell Banking Initiative/International Stem Cell Initiative Workshops (2019.6.30)
- Sato Y, "The Standards for Biological Raw Materials in the Development of Cell-Based Therapeutic Products", EFPIA Study Group Workshop (2019.7.26)
- 佐藤陽治, 「再生医療等安全性確保法施行規則の改正と再生医療等データ登録システムについて. 橋渡し戦略推進プログラム 拠点間ネットワーク モニタリングに係る取組」, 第2回中上級モニター研修会 (2019.8.2)
- 佐藤陽治, 「細胞加工製品の造腫瘍性評価に関する多施設共同研究」, 令和元年度AMED再生医療研究交流会 (2019.9.3)
- 佐藤陽治, 「ヒト細胞加工製品の原料の品質について」, 医工学フォーラム-再生医療を本音で語る (2019.9.9)
- 佐藤陽治, 「再生医療の国内外の規制・施策の動向」, ヒューマンサイエンス振興財団・創薬技術調査班・規制動向WG勉強会 (2019.9.12)
- Sato Y, "AMED-MEASURE & HESI CT-TRACS: Regional and International Public-Private Partnerships for Development and Validation of Test Methods for Tumorigenicity Assessment of Pluripotent Stem Cell-Derived Therapeutic Products", The 2nd Symposium on Coevolution of Innovation & Regulation for Advanced Medicine (2019.9.19)
- 佐藤陽治, 「再生医療等データ登録システムの利活用」, 日本再生医療学会第5回再生医療産学連携バリューチェーンセミナー (2019.9.24)
- 安田智, 「細胞加工製品の安全性・品質評価の考え方について」, KRIC企業基礎力向上イベント基礎セミナー (2019.10.07)
- 佐藤陽治, 「細胞加工製品製造における規制上の課題」, BioJapan/再生医療Japan 2019 (2019.10.10)
- 佐藤陽治, 「「生もの」である再生・細胞医療製品の品質を確保するための手法の開発」, BioJapan/再生医療Japan 2019 (2019.10.10)
- 佐藤陽治, 「患者まで安全に届ける再生医療～品質管理の重要性～」, 第4回再生医療産学官連携シンポジウム (2019.10.23)
- Sato Y, "Updates to Japan's regulation and/or quality issues of PSCs for cell therapies", Pre-Xmas Symposium 2019 (2019.12.4)
- 佐藤陽治, 「再生医療に使われる細胞の品質をどう確保するか」, 読売テクノ・フォーラム (2019.12.11)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質・安全性確保のための科学と規制」, 薬学振興会先端創薬科学講座 (2019.12.13)
- Sato Y, "Comparability in Manufacturing and Characterization of Regenerative Medical Products", 4th DIA Cell and Gene Therapy Products Symposium in Japan (2019.12.16)
- 佐藤陽治, 「Q5A (R2): ヒト又は動物細胞株を用いて製造されるバイオテクノロジー応用医薬品のウイルス安全性評価」, 第41回ICH即時報告会 (2019.12.18)
- 佐藤陽治, 「再生医療等製品(細胞加工製品)の品質管理の考え方と品質評価のレギュラトリーサイエンス」, 農林水産省動物医薬品検査所特別講演会 (2020.1.24)

- 河野健, 佐藤陽治, 「再生医療等製品のウイルス安全性と法規制 (およびICH Q5A改訂の概要)」, 第20回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム (2020.2.8)
- 佐藤陽治, 「『生もの』としての再生医療製品の品質向上のための細胞特性解析技術」, RINK FESTIVAL (2020.2.21)
- 佐藤陽治, 「細胞加工製品の開発に求められる品質・安全性評価法とは」, 第6回再生医療EXPO大阪 (2020.2.26)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発・規制動向の整理と品質管理・安全性評価の考え方」, 情報機構セミナー (2019.4.12)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と安全性評価の考え方」, サイエンス&テクノロジーセミナー (2019.4.25)
- Naito M: Hijacking IAP ubiquitin ligases by SNIPERs to induce protein degradation. Symposium on Frontier in PROTAC Drug Discovery and Development, 上海科技大学, 中国(2019.5.16)
- 鈴木孝昌, 「遺伝子診断薬およびコンパニオン診断薬開発の現状及び規制動向と今後の課題」, 情報機構セミナー (2019.5.21)
- 井上貴雄, 「核酸医薬 (オリゴ核酸) に由来する毒性を予測する手法と回避する手法」, 第5回中分子創薬に関わる次世代産業研究会 (2019.5.24)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品開発の現状と将来展望」, 第21回インターフェックスジャパンセミナー (2019.7.6)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発・規制動向の整理と品質/安全性評価におけるポイント」, R&D支援センター主催セミナー (2019.7.25)
- Naito M: Induced Protein Degradation by Chimeric Small Molecules; Recent Progress and Outlook. Targeted Protein Degradation forum in Japan, 湘南iPARK(2019.8.22)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の品質・安全性評価の考え方」, 第44回製剤・創剤セミナー (テーマ: 医療ニーズの変貌に挑戦する製剤・創剤) (2019.8.22)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発および国内外における規制動向の整理と品質管理・安全性評価の考え方」, 情報機構 核酸医薬開発セミナー (2019.8.23)
- 内田恵理子: 日本における遺伝子治療の規制とレギュラトリーサイエンス, RINK 2019年度 第1回公開フォーラム (2019.9.4)
- 内田恵理子: 遺伝子治療の開発と規制の現状と課題, 第30回JBICバイオ関連基盤技術研究会 (2019.9.30)
- 井上貴雄, 「核酸医薬およびゲノム編集医療の現状と安全性評価」, トーゴの日シンポジウム2019 (2019.10.5)
- 井上貴雄, 「核酸医薬開発の現状と課題」, 核酸医薬分析セミナー (2019.10.8)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と規制整備に向けた取り組み」, 技術情報協会セミナー (2019.10.29)
- 内藤幹彦, 次世代の医薬品開発プラットフォーム技術: プロテインノックダウン法の開発, 東北大学大学院薬学系研究科医薬品開発研究センターキックオフシンポジウム (2019.11.15)
- 井上貴雄, 「核酸医薬品の開発動向と安全性担保に向けた取り組み」, 東京医科歯科大学 医歯薬産業技術セミナー (2019.11.18)
- 井上貴雄, 「ゲノム編集技術を用いた遺伝子治療のオフターゲット変異評価に関する考察」, 第4回日本遺伝子細胞治療学会 若手研究会セミナー (2019.11.22)
- 鈴木孝昌, 「遺伝子診断薬およびコンパニオン診断薬開発の現状及び規制動向と今後の課題」, 情報機構セミナー (2019.11.27)
- 井上貴雄, 「核酸医薬の安全性をどのように担保するか - 毒性の評価と回避 -」, LINK-Jセミナー 核酸創薬: アンチセンス核酸の設計と毒性回避について (2019.11.28)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬品の開発の現状・規制動向の整理と品質・安全性評価の考え方」, 情報機構セミナー (2019.12.13)
- 吉田徳幸, 「核酸医薬のレギュラトリーサイエンス」, 神

奈良県立福祉大学ヘルステクノロジー特別講義 (2020.2.1)

井上貴雄：核酸医薬品の安全性確保のためのオフターゲット作用の評価技術開発 令和元年度創薬基盤推進研究事業公開シンポジウム (2020.2.3)

鈴木孝昌，「次世代型診断薬の開発・規制動向とこれからの製品開発のポイントと課題」，R & D支援センターセミナー (2020.3.18)

中岡竜介，加藤玲子，靛島由二，「次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業人工知能分野審査WGによるプログラムの医療機器該当性判断要素案について」，厚生労働省第6回AI勉強会 (2019.4.18)

靛島由二，「エンドトキシン試験における留意点」，プレフィールドシリンジセミナー (2019.5.21)

宮島敦子，植松美幸，靛島由二，再製造単回使用医療機器 (R-SUD) -事業の進捗と医療機関での対応- 「再製造単回使用医療機器 (SUD) の洗浄ガイドラインについて」，第94回日本医療機器学会大会 シンポジウム (2019.6.14)

宮島敦子，植松美幸，靛島由二，「再製造単回使用医療機器 (SUD) の洗浄ガイドラインについて」，第34回滋慶医療科学大学院大学 医療機器安全管理研究会セミナー (2019.7.27)

中岡竜介，加藤玲子，靛島由二，「次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業「人工知能技術を利用した医用画像診断支援システムに関する評価指標」の概要について」，厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業「医療におけるAI関連技術の利活用に伴う倫理的・法的・社会的課題の研究」班会議話題提供講演 (2019.7.27)

靛島由二，「化学分析を併用した生物学的安全性評価の戦略的分析パッケージ」，レギュラトリーサイエンス学会第9回学術大会シンポジウム (2019.9.7)

中岡竜介，加藤玲子，宮島敦子，野村祐介，靛島由二，「医療機器の生物学的安全性評価について-国内ガイダンスとISO/TC 194における国際標準化の現状-」，一般社団法人日本歯科理工学会 近畿・中四国地方会夏期セミナー標準化に関するシンポジウム (2019.9.21)

中岡竜介，「医療機器の有効性・安全性評価について-生物学的安全性評価、人工知能 (AI) 技術を利用した医療機器の評価について-」，東京医科歯科大学歯薬産業技術特論 (2019.10.29)

中岡竜介，加藤玲子，靛島由二，「次世代医療機器・再生医療等製品評価指標作成事業人工知能分野審査WGにおける活動の紹介とその後の展開について」，眼科医療機器の薬事勉強会 (2019.11.27)

加藤玲子，「生安性ガイダンス通知説明会-第5部刺激性試験」，国内ガイダンス改訂準備特別作業班 (2020.01.22-23)

野村祐介，靛島由二，「生安性ガイダンス通知説明会-化学分析の基本的考え方」，国内ガイダンス改訂準備特別作業班 (2020.01.22-23)

中岡竜介，「ヘルスケア医療機器のレギュラトリーサイエンス」，神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール特別講演 (2020.1.25)

中岡竜介，「ISO/TC 150 (外科用インプラント) /SC 7 (再生医療機器) の国際標準化状況」，JFCA標準化講演会 (2020.1.29)

小林憲弘，「水道水質検査方法はこれからどこに向かうのか～近年の改正のまとめと今後の展望～」，水道水質・環境分析セミナー2019 (2019.4.2)

小林憲弘，「水道水質検査方法の近年の改正と今後の展望」，平成31年度水質検査精度管理研修会 (2019.5.21)

五十嵐良明，「家庭用品の安全対策と健康被害事例への対応」，令和元年度全国地方衛生研究所長会議 (2019.6.6)

河上強志，「家庭用品の安全性について」，神奈川県衛生研究所学術講演会 令和元年度第1回公衆衛生専門技術研修 (2019.6.25)

小林憲弘，「水道水質検査における質量分析の活用」，環境科学会2019年会シンポジウム「環境研究における質量分析の役割と課題」 (2019.9.1)

酒井信夫，「室内濃度指針値の改定について」，フォーラム2019 衛生薬学・環境トキシコロジー (2019.9.1)

小林憲弘, 「水道水質検査方法の改正に関する最新情報 (2020年4月の改正)」, 令和元年度飲料水検査技術研修会 (2019.9.4)

酒井信夫, 「室内空気環境汚染化学物質の標準試験法の策定およびリスク低減化に関する研究」, 環境科学会2019年会 (2019.9.13)

小林憲弘, 「水道水中のグルホシネート・グリホサート・AMPAのLC/MS/MS一斉分析法の妥当性評価」, 環境科学会2019年会シンポジウム「より迅速・簡便な水質検査法の開発」 (2019.9.14)

小林憲弘, 土屋裕子, 「水道水中農薬のGC/MSターゲットスクリーニング分析法の開発」, 統計数理研究所共同研究「令和元年度 統計学的アプローチによる問題解決のための環境化学分析の最適化・高度化に関する研究集会」 (2019.10.11)

久保田領志, 「化粧品及び医薬部外品～品質と安全性の確保に係る取り組み～」, 日本薬学会東海支部特別講演会 (2019.11.29)

酒井信夫, 「室内濃度指針値の改定について」, 第56回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2019.12.6)

小林憲弘, 「2020年の水道水質基準と検査方法の改正予定」, 第56回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2019.12.6)

河上強志, 「家庭用品規制法の改正に向けた動きと最新の話」, 第56回全国衛生化学技術協議会年会 部門別研究会 環境・家庭用品部門 (2019.12.6)

秋山卓美, 「化粧品及び医薬部外品の品質と安全性」, 日本繊維学会第197回被服科学研究委員会 (2020.2.7)

河上強志, 「アゾ化合物等の家庭用品に含まれる有害物質規制並びに健康被害の実態について」, 日本繊維学会第197回被服科学研究委員会 (2020.2.7)

河上強志, 「家庭用品規制法および安全対策の現状と実際の健康被害について」, 三重県家庭用品衛生監視員及び試験研究員研修会 (2020.2.14)

小林憲弘, 「令和2年度厚生働省精度管理調査につい

て」, 水道水質検査精度管理に関する研修会 (2020.2.28)

稲山浩, 「ちゃんと知りたい農薬のこと」, 品川区保健所講習会 (2019.7.11)

根本了, 「食品中の残留農薬等の公示試験法について」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会令和元年度残留農薬等研修会 (2020.1.17)

坂井隆敏, 「食品中の残留動物用医薬品等に関する話題」, (一社) 食品衛生登録検査機関協会令和元年度残留農薬等研修会 (2020.1.17)

根本了, 「残留農薬等公示試験法の見方・考え方」, 2020残留農薬分析国際交流会セミナー「食品中残留農薬分析の技術・品質・方法」 (2020.2.26)

稲山浩, 「食品安全分野のレギュラトリーサイエンス」, 福岡県保健環境研究所「第432回集談会」 (2020.2.21)

久保田浩樹, 食品安全規格の国際整合性と野菜の衛生管理「殺菌に係わる近年指定された食品添加物」 ifia JAPAN 2019食の安全・科学フォーラム 第18回セミナー&国際シンポジウム (2019.5.22)

杉本直樹, 「qNMRの標準化とその応用」, AOAC International Japan Section 第22回年次大会シンポジウム改訂ISO/IEC17025で注目されるトレーサビリティと標準物質 (2019.7.12)

杉本直樹, 「定量NMRの現状」, 第1回日本定量NMR研究会年 (2019.12.13)

Sugimoto N, "Quantitative nuclear magnetic resonance spectroscopy – Purity determination of organic compounds used for foods and food products – General requirements", ISO/TC34/WG24 1st meeting (2020.2.20)

Nishizaki Y, "External Standardization in qNMR", 5th International qNMR Summit (2019.10.2)

Nishizaki Y, "Application of ^1H -qNMR to determine response factors between compounds for improving analytical results obtained from chromatography", International Conference on Polyphenols and Health (2019.11.29)

- 西崎雄三, 「qNMR 分析における外部標準法の有効性と分析値にバラつきを与える要因の整理」, 第1回日本定量NMR研究会年 (2019.12.13)
- 増本直子, 「健康食品及びその素材の品質確保に関する研究」, 日本食品化学学会第25回総会・学術大会 (2019.6.7)
- Satio T, Suematsu T, Sugimoto N, “Progress in proposal of an ISO standard for purity assessment by qNMR”, 5th International qNMR Summit (2019.10.3)
- Miura T, Sugimoto N, Suematsu T, “General Rules for Quantitative NMR Spectroscopy”, 5th International qNMR Summit (2019.10.3)
- 六鹿元雄, 「器具・容器包装のPL化について」, 第92回日本産業衛生学会シンポジウム (2019.5.23)
- 六鹿元雄, 「食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について」, 関西医薬品協会 第2回技術研究委員会特別講演会 (2019.7.23)
- 六鹿元雄, 「器具・容器包装のPL化について」, 地方衛生研究所全国協議会 東海・北陸支部衛生化学部会 (2020.2.7)
- 六鹿元雄, 「器具・容器包装におけるPL制度の最新情報」, 日本食品衛生学会 第22回特別シンポジウム (2020.2.13)
- 阿部裕, 「食品用器具・容器包装のポジティブリスト (PL) 化について」, 一般社団法人浄水器協会 研修会 (2019.5.23)
- 阿部裕, 「ビスフェノールA試験法について」, 「器具・容器包装およびおもちゃにおける着色料の規格について」公益社団法人日本食品衛生協会 器具・容器包装研修会 (2019.11.7, 8)
- 片岡洋平, 「ビスフェノールAの測定結果について」, 公益社団法人日本食品衛生協会 器具・容器包装研修会 (2019.11.8)
- 大城直雅, 「マリンバイオトキシンの概要及びマウス試験について」, 2019年度EU輸出ホタテガイ貝毒検査に係る研修 (2019.7.18)
- 大城直雅, 「自然毒による食中毒」, 第2回海洋自然毒研究会Seaside Seminar (2019.8)
- 朝倉宏, 「食中毒細菌」, 日本防菌防黴学会第46回年次大会 (2019.9.25)
- 中山達哉, 「衛生管理のために用いるべき、試験法の動向について」, 日本防菌防黴学会第46回年次大会 (2019.9.26)
- 大城直雅, 「自然毒分析法について」, 令和元年度地域保健総合推進事業に係る地方衛生研究所地域専門家会議 (2019.10.31)
- 大城直雅, 「九州・沖縄に関するマリンバイオトキシンについて」, 令和元年度地方衛生研究所地域専門家会議 (九州ブロック) (2019.11.8)
- 岡田由美子, 「気を付けよう!細菌性食中毒~家庭でできる食中毒予防~」, 令和元年度長崎県「食品の安全・安心リスクコミュニケーションセミナー」 (2019.11.11-12)
- 朝倉宏, 「*Campylobacter jejuni*の細菌学的特性, 並びにその制御に関する研究」, 第40回日本食品微生物学会学術総会 (2019.11.28)
- 朝倉宏, 「食鳥処理場の衛生管理の動向と微生物モニタリングの検討状況について」, 第40回日本食品微生物学会学術総会ランチョンセミナー (2019.11.28)
- 朝倉宏, 「食品微生物検査法の概要と国際調和に向けた検討について」, 令和元年度一般社団法人食品衛生登録検査機関協会微生物研修会 (2019.12.6)
- 朝倉宏, 「厚生労働科学研究における食鳥処理場HACCP検証手法の検討状況について」, 令和元年度食肉・食鳥肉衛生技術研修 (2020.1.22)
- 朝倉宏, 「ブリード法等の微生物検査法の改訂について」, 公益財団法人日本乳業技術協会令和元年度生乳検査技術者連絡会 (2020.1.29)
- 朝倉宏, 「鶏の生産・食鳥処理・消費段階における *Campylobacter* spp.の動態解析」, 第93回日本細菌学会学術総会ワークショップ (2020.2.19)

- 朝倉宏, 「カンピロバクター食中毒対策～フードチェーンにおける汚染実態」, 令和元年度仙台市食品衛生関係職員研修会 (2020.3.17)
- 渡辺麻衣子, 「カビのやさしい遺伝子検査法」NPO法人カビ相談センター第46回生活環境とカビ管理対策セミナー (2019.5.10)
- 近藤一成, 「ゲノム編集技術を利用した食品等とその取扱い」, 日本食品工業倶楽部 情報交換会 (2019.6.27)
- 近藤一成, 「ゲノム編集技術を利用して得られた食品等に関する意見交換会」での基調講演 (東京および福岡会場), (2019.7.4, 2019.7.12)
- 北嶋聡, 近藤一成, 「ゲノム編集技術応用食品の現状と課題」, 第35回日本食品化学会シンポジウム (2019.11.8)
- 近藤一成, 「遺伝子組換え食品の検査法」, 第9回ISO/TC34/SC16総会ポストワークショップでの講演 (2019.11.22)
- 近藤一成, 「ゲノム編集技術応用食品とその取扱いについて」, 第56回全国衛生化学技術協議会年会 教育講演 (2019.12.5)
- 近藤一成, 「ゲノム編集食品とその安全性」, 第22回日本食品衛生学会特別シンポジウム (2020.2.13)
- 蜂須賀暁子, 「放射性医薬品の品質管理の考え方」, 福島県立医科大学先端臨床研究センター (2019.8.6)
- 蜂須賀暁子, 「食品の安全性について一緒に考えてみませんか」, 2019年度 食と放射能に関する説明会 (2019.8.7, 2019.8.21)
- 蜂須賀暁子, 「身近な放射線 食品汚染物質と放射性医薬品」, 横浜薬科大学 (2019.9.13)
- 蜂須賀暁子, 「食品の安全性について一緒に考えてみませんか」, 2019年度 食と放射能に関する説明会 (2019.11.12)
- 為広紀正, 「機械学習を用いた食物アレルギー性予測」, 第17回食品安全フォーラム (2019.11.29)
- 畝山智香子, 「食べ物のリスクとの付き合い方を知ろう」, 全国学校給食甲子園・第3回食育ワークショップ (2019.8.11)
- 畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える～ゼロリスクという幻想～」, 毎日新聞食育セミナー (2019.7.30)
- 畝山智香子, 「安全な食べものって何だろう～食を巡る科学と非科学」, 科学的に消費者問題を考える会 in 国民生活センター (2019.8.2)
- 畝山智香子, 「食べ物のリスクとの付き合い方を知ろう」, 全国学校給食甲子園・第3回食育ワークショップ (2019.8.11)
- 畝山智香子, 「食に関するリスク情報のとらえ方」, 食肉学術フォーラム委員会 (2019.8.26)
- 畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える」, 「食と健康」講演会 (2019.9.11)
- 畝山智香子, 「健康食品とは～食の安全と健康食品～」, 仙台市令和元年度第2回消費生活講座 (2019.10.31)
- 畝山智香子, 「食品中化学物質のリスク評価について」, 甲府市食品リスクコミュニケーター養成講座 (2019.11.6)
- 畝山智香子, 「食品の安全性について」, 長野県栄養士会地域活動事業部 (2019.11.9)
- 畝山智香子, 「食品安全の考え方～食品添加物から健康食品まで～」, 新宿区消費者講演会 (2019.11.20)
- 畝山智香子, 「食の安全を考える～ゼロリスクという幻想～」, 栃木県食品産業協会食文化セミナー (2019.11.25)
- 畝山智香子, 「健康食品って安全なの?」, 名古屋市食の安全・安心フォーラム (2019.11.30)
- 畝山智香子, 「ほんとうの「食の安全」を考える－食品中化学物質のリスクについて－」, すこやか食生活協会シニア食育講座 (2020.2.7)
- 畝山智香子, 「ほんとうの食の安全～リスクのものさしで考える～」, 消費者庁食品に関するリスクコミュニケーション (2020.2.28)

- 渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること」, 東京都GLP講習会 (2019.6.7)
- 渡邊敬浩, 「食品検査の基本-サンプリングと分析、そして品質保証-」, 令和元年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2019.6.18)
- 渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること-ISO/IEC 17025と業務管理要領改訂-」, 令和元年度食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会 (2019.6.18)
- 渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること-我が国の試験所のこれからに必要なこと-」, 東海北陸厚生局登録検査機関業務管理担当者研修会 (2019.6.19)
- 渡邊敬浩, 「What we can do for "Food Safety"」, 第15回ASJA-ASCOJA-JAOL International Symposium (2019.10.4)
- 渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること-ISO/IEC 17025と業務管理要領改訂について-」, 滋賀県衛生科学センター講習会 (2019.10.11)
- 渡邊敬浩, 「信頼される検査のためにできること-ISO/IEC 17025と業務管理要領改訂について-」, 近畿厚生局主催食品衛生法に基づく登録検査機関及び食品衛生検査施設向け講習会 (2019.11.13)
- 渡邊敬浩, 「CCMASとは何か?」, 第1回食品分析の国際動向を知るシンポジウム (2019.12.4)
- 渡邊敬浩, 「国際的な要求水準を踏まえた内部品質管理一般ガイドラインの策定について」, 令和元年度(一社)食品衛生登録検査機関協会業務管理研修会(京都) (2020.2.8)
- 渡邊敬浩, 「国際的な要求水準を踏まえた内部品質管理一般ガイドラインの策定について」, 令和元年度(一社)食品衛生登録検査機関協会業務管理研修会(東京) (2020.2.19)
- 窪田邦宏, 「アメリカ及びEUにおける小規模事業者に対する衛生監視指導(HACCPの制度化への対応状況とその支援策および先行国における現状)」, 食の安全を確保するための微生物検査協議会2019年度研修会 (2019.11.14)
- 登田美桜, 「自然毒に関する最近の話題」, 令和元年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会 (2019.11.15)
- 登田美桜, 「国内における最近の自然毒による食中毒関連情報について」, 令和元年度地方衛生研究所全国協議会東海・北陸ブロック会議 (2019.12.10)
- 登田美桜, 「国内における有毒植物による食中毒について」, 令和元年度岐阜県食品衛生監視員研修会 (2020.1.13)
- 登田美桜, 「食中毒の原因となる自然毒について」, 令和元年度地方衛生研究所全国協議会衛生化学分野研修会 (2020.2.10)
- 齋藤嘉朗, 「マイクロサンプリング手法の利用に関する質疑応答集(Q&A)と関連動向」, GLP研修会 (2019.10.21, 2019.10.25)
- 齋藤嘉朗, 青木良子, 「医療用医薬品の添付文書に関する活用状況と今後の展望」第26回臨床薬理学講習会 (2019.12.7)
- 齋藤嘉朗, 「官民共同による重篤副作用バイオマーカー開発」AMEDシンポジウム2019 (2019.12.7)
- 佐井君江, 「Scientific insights about ethnic factors」, PMDA-Asia Training Center Multi-Regional Clinical Trial Seminar 2020 (2020.1.20)
- 齋藤嘉朗, 「薬物動態関連レギュレーションの動向と関連研究」薬物動態談話会1月例会 (2020.1.31)
- 齋藤嘉朗, 「革新的医薬品等開発のための次世代安全性評価法の開発・標準化と基盤データ取得」日本医療研究開発機構 令和元年度 創薬基盤推進研究事業 公開シンポジウム (2020.2.3)
- 平林容子, 6 標的臓器 6.1血液毒性, 第22回日本毒性学会基礎教育講習会 (2019.8.5)
- 高橋祐次, 新素材の毒性評価 2019年度 科学技術未来戦略ワークショップ (2019.12.3)
- 平林容子, 6 標的臓器 6.1血液毒性, 第23回日本毒性学会基礎教育講習会 (2020.3.2)

山崎大樹, 「くすりの安全を科学する」, 名古屋市立大学薬学部 キャリア支援講演会 (2019.11.18)

豊田武士, 「消化器系: 食道・胃・小腸・大腸/増殖性病変」, 日本毒性病理学会主催第32回スライドカンファレンス (2020.2.12)

足利太可雄, 「動物実験代替法の国内外の動向について」, 皮膚基礎研究クラスターフォーラム (2019.7.11)

小島肇, 「化粧品の安全性と評価」, 東京理科大学オープンカレッジ (2019.7.27)

小島肇, 「OECDにおける化学物質およびバイオセーフティ活動に対する日本の対応」, LRI研究報告会 (2019.8.30)

Shihori Tanabe, 「CSC and EMT in glioblastoma.」, Brain Tumor Research Forum (2019.9.2)

足利太可雄, 「最新の皮膚感作性試験の動向 (IATA等)」, 日本動物実験代替法学会企画委員会主催技術

講習セミナー「代替法を正しく、有効に使う為に！」(2019.9.6)

小島肇, 「培養組織モデルの国際標準化の状況」, LbL-3D組織シンポジウム (2019.9.12)

山田隆志, 「化学物質のヒト安全性評価のためのin silicoアプローチの開発と活用」, 化学物質の安全管理に関するシンポジウム-化学物質の評価・管理に関する手法やツール等の活用状況- (2019.11.28)

大野彰子, 「薬学研究分野 (医薬品・食品・化学物質) への多変量解析法の活用例」, Umetrics Japan User Meeting 2019. 2019 (2019.12.3)

足利太可雄, 「動物実験代替法による化学物質の接触アレルギー評価の最新動向」, 繊維評価技術協議会 第32回安全性WG会議 (2020.2.6)

広瀬明彦, 「ナノ材料の毒性評価の考え方 - 化学物質の評価法の適用可能性について -」NBCI社会受容・標準化委員会との材料安全分科会主催講演会 (2019.11.12)